

「見えない死角はどこにも潜む 意識集中 運転集中！」平成28年度最優秀交通安全標語

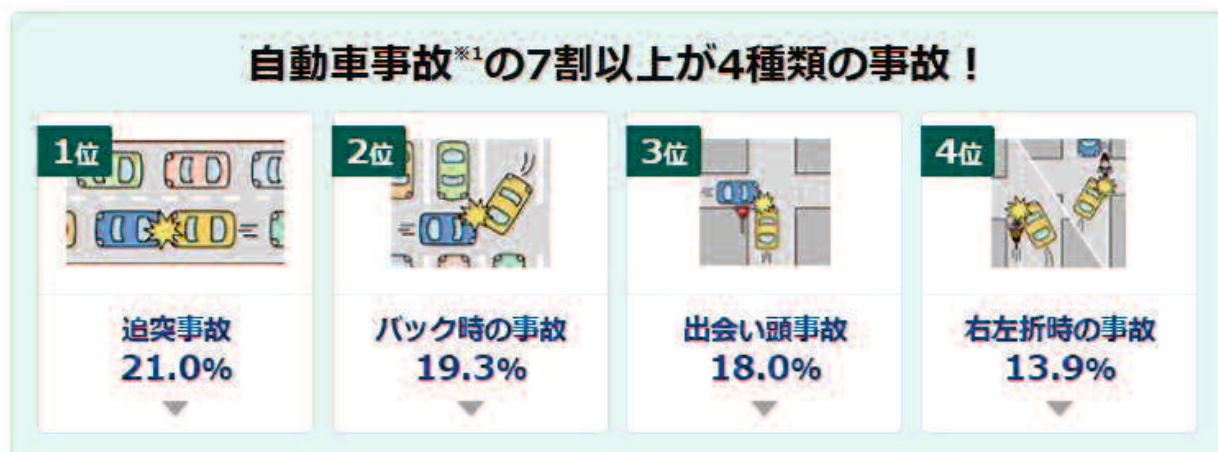
梅雨に入りじめじめとした日々が続いておりますが、6月は交通事故の発生はゼロでした。今の時期は新入社員の配属も決まり新天地で運転する機会も出てきますが、良い緊張感は継続させて今後も無事故を継続していきましょう。

さて、「よくある自動車事故」がどのようなものかご存知ですか？

国内で発生している自動車事故のうち、7割以上が4種類の事故でおこっています。今月は、この4種類の事故について取り上げてみました。よくある事故だからこそ、事故を未然に防ぐためのポイントをおさえておきたいものです。

これからの季節は、夏季休暇等で自動車を運転する機会（特にロングドライブ）も増えます。一読していただき自動車事故防止に役立ててください。

I. 安全運転アドバイス 「よくある事故防止編」



※1 某会社の自動車保険において、自動車の事故に関して保険金を支払した事故。

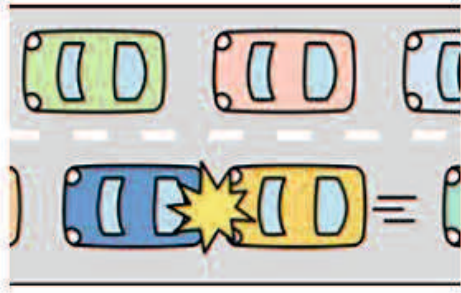
1位 追突事故を防止するために

主な原因 **脇見運転・動静不注視^{※2}等**

- 前の車の不意な減速・停止を予測しながら運転。
- 低速で走行中であっても、しっかり集中。
- 余裕を持った車間距離を確保。

▲ 特に注意する場所
直線道路・交差点

自動車事故の
21.0%



※2 動静不注視とは、相手の存在を発見していたが、危険はないと判断し、その動静の注視を怠ったことをいいます。

2位 バック時の事故を防止するために

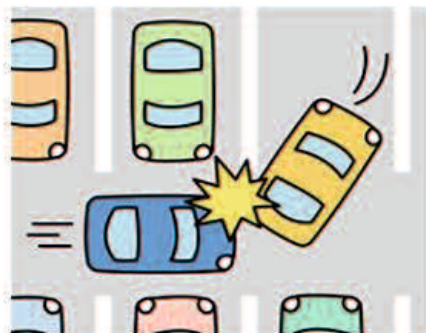
自動車事故の
19.3%

主な原因 安全不確認等

- ミラーやバックモニターだけに頼らず、目視で安全確認。
- 見えないときは、いったん下車して安全確認。
- ゆっくりと歩くくらいの速度でバック。

▲ 特に注意する場所

駐車場



■ 駐車場内は危険がいっぱい

駐車中の「当て逃げ」や「いたずら」といった事故が多くなっています。マナーの悪い車の隣への駐車は避け、駐車スペース内にきちんと駐車することが大切です。



3位 出会い頭事故を防止するために

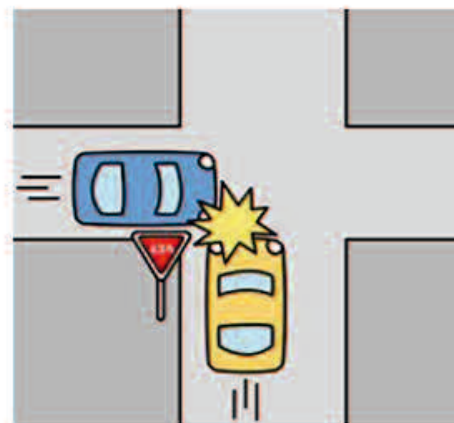
自動車事故の
18.0%

主な原因 安全不確認・一時不停止等

- 一時停止の道路標識がある交差点では、完全に車輪を止めて、左右の安全を確認。
- 住宅街では自転車・歩行者の飛び出しにも注意。

▲ 特に注意する場所

信号がない交差点



■ 交差点のミラーに頼らない

ミラーでは、相手との距離感がつかみにくいうえ、自転車や歩行者を見落としやすいことに注意が必要です。必ず自分の目で、直接左右を確認するようにしましょう。

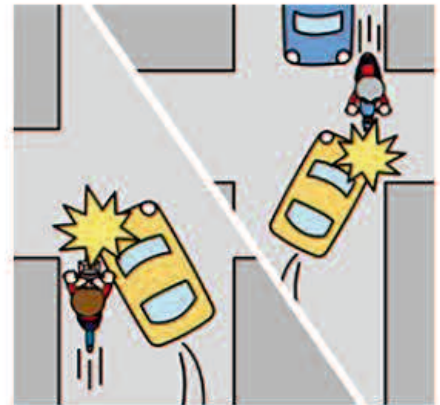
4位 右左折時の事故を防止するために

自動車事故の
13.9%

主な原因 安全不確認・動静不注視※2等

- 一時停止の道路標識がある交差点では、完全に車輪を止めて、左右の安全を確認。
- 住宅街では自転車・歩行者の飛び出しに注意。

▲ 特に注意する場所
市街地の交差点



■ 焦った右折は禁物

急いで右折しようとすることは大変危険です。対向車に注目するばかりに、横断中の歩行者等を見落とす恐れがあります。右折時は、焦らず対向車や歩行者との距離・動きを確認しながら走行しましょう。

また、対向車に道を譲ってもらうこともありますが、油断してはいけません。対向車の陰に隠れて二輪車が直進してくることも。一つひとつ丁寧に確認しながら右折することが事故を起こさないポイントです。

☆どの事故も、ちょっとした工夫で防げますので、ぜひ実践してみてください☆

Ⅱ. 今月のスローガン

危険です

ハイスピードと漫然運転